

《薬局サーベイランスコメント》

『2017年第2週インフルエンザの推定患者数は60万人を超え、本格的な流行期間に入った。第3週は更に患者数が大きく増加するものと予想される』

2017年1月17日
済生会中津病院感染管理室
安井 良則

今シーズン（2016/2017年シーズン）の2017年第2週（1月9日～15日）の全国のインフルエンザ推定受診患者数は、薬局サーベイランスによると622,745であり、前週（第1週）の推定値（425,809）よりも20万人近く増加し、本格的な流行期間に入りました（図1）。休日明けの2017年第3週の月曜日（1月16日）の推定受診者数は191,308と今シーズンの最高値を更新しており、第3週（1月16日～22日）は100万人近い患者数となる可能性があります。

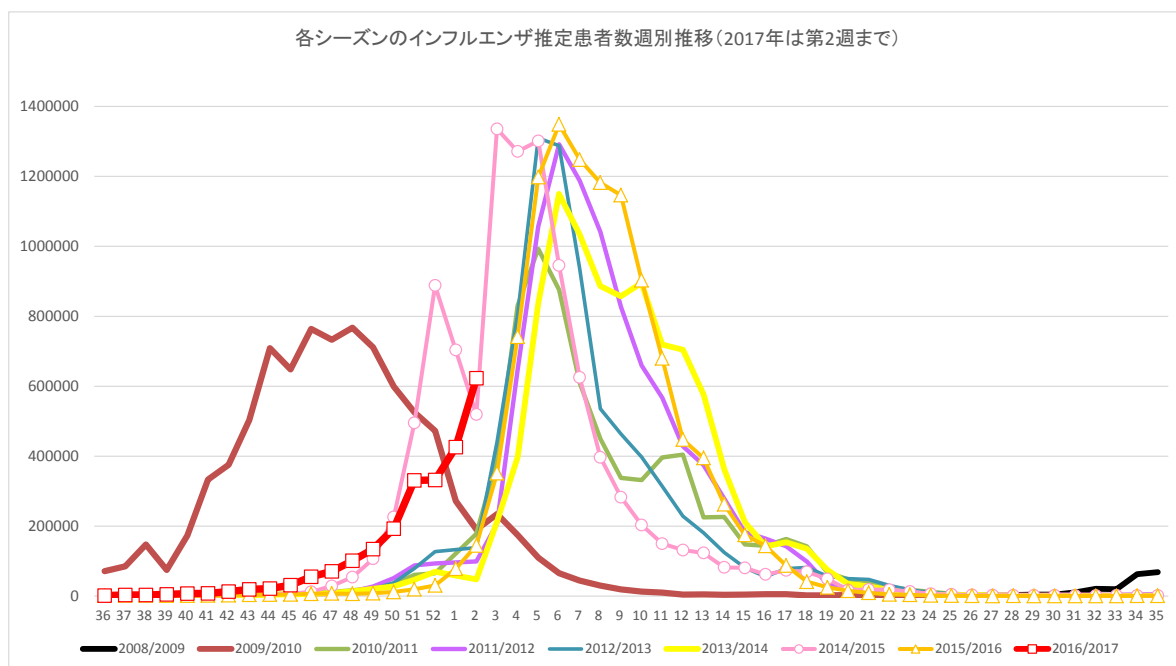


図1. 過去6シーズンと今シーズン（2016/2017シーズン）のインフルエンザ推定患者数の週別推移

2016年第36週から2017年第2週までの累積の推定患者数は2,378,118であり、日本の人口推計値（2016年11月1日現在、1億2695万人）で換算すると、累積の罹患率は1.87%となりました。罹患率を年齢群別で比較すると10～14歳（4.67%、257,74人）、5～9歳（4.58%、243,394人）、15～19歳（3.75%、224,274人）、0～4歳（3.33%、

171,273 人)、20～29 歳 (2.44%、309,255 人)、30～39 歳 (1.94%、294,565 人)、40～49 歳 (1.72%、325,667 人)、50～59 歳 (1.52%、234,325 人) の順となっています (図 2)。第 2 週は特に 19 歳以下の年齢群の患者数が急増しています。

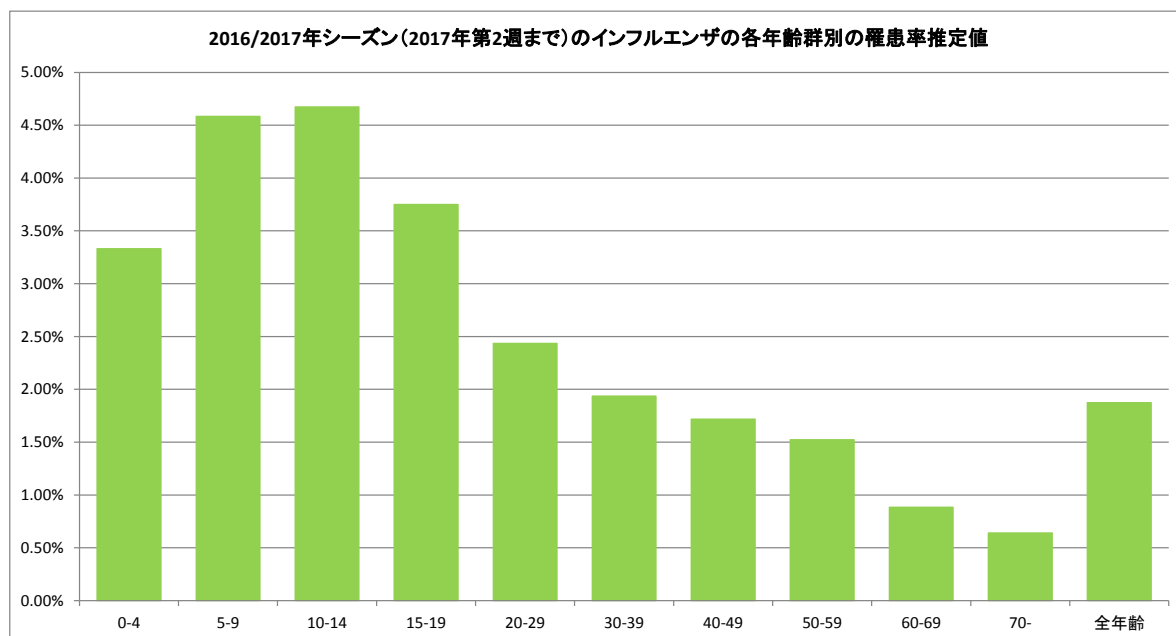


図 2. 年齢群別のインフルエンザ罹患率推定値 (2016 年第 36～2017 年第 2 週)

各都道府県別の 2017 年第 2 週の人口 1 万人当たりの 1 週間の推定患者数をみると、福井県、徳島県、静岡県、広島県、秋田県、北海道、大分県、岐阜県、三重県、愛知県、山梨県、宮崎県の順となっていて、47 都道府県全てで前週よりも増加が見られました。

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://nesid3g.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data2j.pdf>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス (1,017 検体解析) は、A/H3 (A 香港) 亜型が 89.8%と大半を占めており、次いで A/H1pdm 7.5%、B 型 2.8%の順となっています。

2017 年第 2 週のインフルエンザの推定受診者数は 60 万人を超え、本格的な流行期間に入りました。第 3 週は更に患者数が大きく増加するものと予想されます。今後ともインフルエンザの患者発生の推移には注意が必要です。